

規制改革推進会議

医療・介護・感染症対策ワーキング・グループ ヒアリング資料

医療データの利活用促進に関する提言

ヘルスケアデジタル改革ラウンドテーブル

2023年2月13日

— 事務局 —

株式会社日本総合研究所

持続可能で質の高い医療提供体制構築に関する研究チーム

ヘルスケアデジタル改革ラウンドテーブル構成員

構成員	所属・肩書	専門
森田 朗 (座長)	東京大学名誉教授	医療政策
石井 夏生利	中央大学国際情報学部教授	個人情報保護/プライバシー
伊藤 由希子	津田塾大学総合政策学部 教授	医療経済
落合 孝文	渥美坂井法律事務所プロトタイプ政策研究所所長、日本医療ベンチャー協会理事	法律 (弁護士)
黒田 知宏	京都大学 医学部附属病院 教授	医療情報
近藤 則子	老テク研究会事務局長	消費者
松村 泰志	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 院長	医師/医療政策/病院経営
宮田 俊男	医療法人DENみいクリニック理事長、早稲田大学理工学術院教授	医師/医療政策/病院経営
美代 賢吾	国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長、一般社団法人 Medical Excellence Japan シニアフェロー	医療情報

オブザーバー

- ・ 内閣府 規制改革推進室
- ・ 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課デジタル経済推進室
- ・ 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課
- ・ 一般社団法人 次世代基盤政策研究所
- ・ ライフサイエンスインキュベーション協議会

医療データの利活用促進に関する提言（全体イメージ）

現状

医療データの利活用
についてどうあるべきか
全体像がない

電子カルテの標準化は
途上、3文書6情報*
から情報連携を検討

医療データの利活用の
重要性も踏まえた
ルールの未整備

提言

目指す社会像の具体化を！

[提言①：グランドデザイン・ユースケース作成]

プラットフォーム構築を！

[提言②：有効かつ適切な利活用を可能とするデータ基盤整備]

出口規制で権利保護を！

[提言③：技術的・組織的に権利保護するデータガバナンスの実装]

医療データの利活用促進に関する提言（概要）

現状

医療データの利活用
についてどうあるべきか
全体像がない

電子カルテの標準化は
途上、3文書6情報*
から情報連携を検討

医療データの利活用の
重要性も踏まえた
ルールの未整備

提言

[提言①：グランドデザインの構築]

医療データの有効かつ適切な利活用を促進するため、一次利用及び二次利用という医療データの利活用全体について、体系的なあるべき制度・システムの全体像を示すべき

[提言②：データ基盤の整備]

医療データの有効かつ適切な利活用を促進するため、関連するあらゆる情報の適切な連携を可能とするプラットフォームの構築を目指すべき

[提言③：データガバナンスの実装]

医療データの有効かつ適切な利活用を促進するため、入口規制から出口規制への転換を行い、ID(マイナンバー)を連携・活用し、上流から下流まで医療データの利活用のあらゆる側面について適切なデータガバナンスを実装すべき

目次

医療データ利活用の問題と要因	5
提言1. グランドデザインの構築	10
提言2. データ基盤の整備	20
提言3. データガバナンス実装	30
今後の進め方	44
参考資料	49

実現したい姿

国民・患者目線

どこの医療機関に行っても、病気にかかる前も含めた
自分に関する同じデータで、**個人にあった
快適かつ質の高い医療サービス**が受けられる



医療従事者目線

患者の病気後のデータに限らず、
医療・健康に関わるあらゆるデータを活用して、
アウトカムベース等で治療の効果を確認でき、追加の
負担なく、**人々の健康増進にさらに貢献**できる

セキュリティ・プライバシー
の確保された環境



諸外国のデータを含めた比較・分析など、
データの利活用により医療の発展とシステムの持続性を強化し、**国民に還元**

救急・災害時でも
迅速的確に医療を提供



医療経済財政の
持続可能性確保に貢献



革新的な新薬・
医療技術の創出促進

